

武蔵野美術大学・新見 隆(にいみ・りゅう) 教授 第7回西洋美術振興財団賞「学術賞」を受賞

武蔵野美術大学（所在地：小平市、学長：甲田洋二）は、本学芸術文化学科教授でフリーキュレーターである新見隆氏が、第七回西洋美術振興財団賞「学術賞」を受賞しましたので、ご連絡いたします。

西洋美術振興財団賞は、同財団によって2006年に創立され、過去二年間に国内で開かれた西洋美術の展覧会を対象に、西洋美術の理解と文化交流の促進、西洋美術研究に寄与のあった活動を、「文化振興賞」（団体）、「学術賞」（個人）として表彰するものです。

今回、新見隆教授は、昨年10月8日～12月20日に開催されたパナソニック汐留ミュージアムの企画展「ウィーン工房 1903-1932 モダニズムの装飾的精神」の企画業績を認められ、「学術賞」を受賞しました。

同展は、20世紀初頭の、建築とデザインの総合化を目指した作家集団「ウィーン工房」を包括的に紹介する本邦初の展示であり、ジャポニズムの影響を受けた前期作品とともに、後期の装飾的な作品をポストモダンのルーツとして紹介することで、モダニズムの開拓者たちの精神を現代日本に紹介する展示として注目を浴びました。



●会場：パナソニック汐留ミュージアム ●写真：ナカサアンドパートナーズ

新見教授は、今回の受賞を受けて、「今回の受賞は、ポスターや図録のデザインを担当された矢萩喜從郎氏、作品をご貸与いただいたウィーンのポール・アセンバウム氏のご協力と、これまで30年近くの学芸員、キュレーターとしての活動に対する評価としても頂いたのかなと思います。今後も、美術で社会を活性化できるよう、学芸員として教授として、活動していきます。」とコメントしました。

なお、顕彰式・祝賀会は、2012年11月19日に東京・「上野精養軒」で執り行われる予定です。

お問い合わせ先

武蔵野美術大学 広報入学センター
広報担当：西・井上
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
TEL：042-342-6038 FAX：042-342-6094

報道関係者お問い合わせ先

広報代行 共同PR株式会社
担当：山本・中澤
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7F
TEL：03-3571-5175 FAX：03-3571-5382

新見 隆（にいみ・りゅう）



武蔵野美術大学 造形学部 芸術文化学科 教授（ミュゼオロジー／美術史・表象文化論など）、フリーランス・キュレーター、ミュージアム&アート・コンサルタント
1958年広島県生まれ。1982年よりセゾン美術館で「日本の眼と空間」「バウハウス 1919-1933」などを担当。日本・海外を問わず多数の展示会を企画・開催。イサム・ノグチ庭園美術館学芸顧問。1999年に着任した武蔵野美術大学では、実践的な教育を行い、学芸員を初め、美術・デザイン関係のプロデューサーを多数輩出。現在は、2015年開館予定の「新しい、大分県の、新県立美術館」の立ち上げを、企画・運営アドバイザーとしてサポートしている。

【「ウィーン工房 1903-1932 モダニズムの装飾的精神」展示風景】

※画像をご希望の方は、報道関係者問い合わせ先までご連絡くださいませ。



- 展示会名：「ウィーン工房 1903-1932 モダニズムの装飾的精神」
- 開催美術館：パナソニック汐留ミュージアム
- 開催期間：平成 23 年 10 月 8 日～12 月 20 日